

導入事例

Case Study

冷凍冷蔵貨物を中心に荷主の急な配送依頼に対応
スマートフォンと位置情報で迅速な配車システムを模索



総合物流コンサルティング事業を展開している株式会社 U. A. ロジテックさまは、スマートフォンとナビックピドットコム社の位置情報サービスの組み合わせで、だれもが使いやすい配車システムを構築。GPS による位置情報の活用なども進められています。

課題と効果



株式会社 U.A. ロジテック
陸運事業部 副部長
西澤 一夫 さま



株式会社 U.A. ロジテック
情報システム 経理課課長
吉田 岳 さま

- 課題**
- ・ 1 秒でも速く、お客さまのもとへ駆けつけるためにドライバーを迅速かつ効率的に手配する必要があった
 - ・ 位置情報や電話など、様々な機能を並行して利用可能なマルチタスクに対応していなかったため、それを実行できる方法を探していた
- 効果**
- ・ ナビックピドットコム社の位置情報サービスとソフトバンクモバイルのスマートフォンにより、素早い配車環境を構築できた
 - ・ GPS を利用した車載ナビやメールでの配車指示など、スマートフォンならではの活用法でサービス力向上につながった

導入の背景 ●●●●●▶ 効率的な配車システムが必要だった

株式会社 U. A. ロジテックさまは、2005 年の設立。荷主さまから素材や製品を預かりパッケージング作業などを代替し出荷する流通加工業者としてスタートしました。運送などの足回りも含めて、創業当初から総合ロジスティック会社として物流コンサルティングを手がける構想を掲げており、M&A により様々な会社を吸収合併。事業の幅を広げています。

冷凍冷蔵軽貨物事業も、その 1 つ。同事業は、物流業界のイレギュラーな事態を、速やかに解決するため裏からバックアップするもの。クライアントさまからの緊急連絡を受けると、最も近いトラックがお客さま先へ急行し、例えば積み残された荷物を配送します。同社が抱える配送車は基本的に個人ドライバーとの契約で成り立っており、現在は登録車両約 60 台が稼働。約 2500 社もの顧客を抱え、月に 2000 件以上発生する緊急配送に対応しています。このため、電話があれば、すぐに駆けつけることが要求され、「お客さまも数社に電話をかけ最も対応が速い業者に依頼をされています」（陸運事業部副部長の西澤一夫さま）とのこと。速さとの確な配車指示が重要です。

もともとは携帯電話で契約ドライバーと連絡を取り合い、対応の可否や所要時間などを確認していました。これを効率化する目的で、まずソフトバンクモバイルの 3G 携帯電話とナビックピドットコム社の位置情報サービスを組み合わせた配車システムを導入。効率的・迅速な配車環境を実現しました。

導入の内容 ……▶ スマートフォンで操作性が格段に向上

3G 携帯電話と位置情報サービスにより実現されている配車システムは、以下の通りです。GPS 情報を得るために常時起動させた 3G 携帯電話を各ドライバーが所持。軽貨物事業部のある臨海町配車センター内の全てのパソコンに表示されたマップ上で各車両の位置を把握し、お客さまから連絡が入ると指定場所に最も近いドライバーへ配車を指示する仕組みです。携帯電話を持っていない場合や、個人の携帯電話が位置情報サービスに対応できない場合には、同社からソフトバンク携帯を貸与しています。

「似たようなシステムは他にもありましたが、当社には費用が高くて手が出ませんでした。ソフトバンクさんの携帯電話とナビピドットコムさんの位置情報サービスの組み合わせは、導入やランニングコストを含めて他社とは比較にならないほど安かったですね」と西澤さま。

基本的な部分は満足されていましたが、「1 つだけ解決したい課題を抱えていました」とは、情報システム・経理課課長の吉田岳さま。「3G 携帯ではマルチタスク処理ができませんでした。とはいえ、GPS ベースのシステムなので常時起動が前提ですので、これを実現するため位置情報サービスを待受けアプリとして利用しました。このため、電話の発信など他機能を使いたい場合に面倒な操作が必要となります。ドライバーさんによっては、上手く使えないなどの弊害がありました」。

抜本的な対策がない中、ナビピドットコム社の位置情報サービスがスマートフォンにも対応。早速ソフトバンクのスマートフォンを使って第二フェーズの配車システム構築に取り組みられました。

今後の展開 ……▶ 効果に満足、すでに様々な活用法を展望

「導入効果は上々です。実際に使ってみて、操作が格段にいいですね」と吉田さま。「携帯電話の操作方法は一律ですが、スマートフォンは操作をカスタマイズできる上、ディスプレイ上のメニューにタッチすればいいので分かりやすい。IT リテラシーの低い人にもやさしく、使う人のレベルに合わせて操作方法を設定するといったことも考えられます。使い方を教える側としても説明が容易で、IT は使ってこそ意味がありますから、その入り口として活用の敷居が低くなる効果も期待できます」。

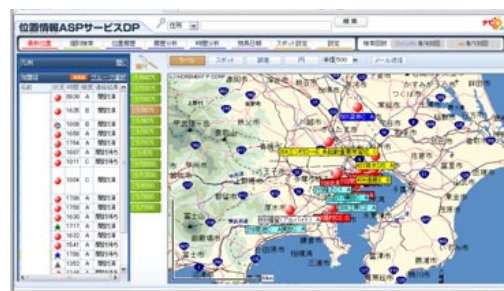
また、スマートフォン搭載の GPS 機能が、予想よりも高精度であったことに驚かれています。グーグルマップとの連動で、位置や目的地までのルート検索など車載ナビの代わりにもなるとのこと。実際、ナビを搭載していなかったドライバーが、分かりにくい場所にあるお客さま先へスムーズに到着できたというエピソードも。

また、現在は電話を中心に行なっている契約ドライバーへの発注（配車指示）をメールに置き換え、情報をやり取りする時間を短縮。「できる限り早くお客さま先に向かえる体制を整えたいですね」（同前）とのこと。聞き間違いなどによりミスが発生するリスク対策にもつながります。

吉田さまは「位置情報の共有も可能です」とサービスカ

向上にも期待されています。例えば、「お客さまによっては複数台の車両が必要な案件もあります。指定場所に向かう途中、渋滞などではぐれてもナビを見ながら誘導することができます。あるいは、荷物を預かったドライバーの位置情報だけをお客さまが確認できるような仕組みが考えられます。『何時に着くのか』という時間を気にするストレスから当社もお客さまも解放されるのでは」（同前）。

さらに、大口のお客さまにシステムを貸し出して、パソコン画面上に表示された車両の位置情報をクリックすると情報がドライバーのスマートフォンへ送信され、発注が完了するような仕組みも検討してみたいとのこと。様々な活用方法を思い描かれています。



パソコン画面上で、契約ドライバーの車両の位置は一目瞭然。お客さまからの電話にも、スピーディーに配車指示が可能といえます。

株式会社 U.A. ロジテック

本社：神奈川県秦野市西田原 414-1

従業員数：83 名（パート社員含む）

概要：総合物流コンサルティング企業として流通加工、冷凍冷蔵軽貨物運送事業、国際物流事業、宅配事業、中古車販売事業、損害保険代理店などを手がけています。

URL：<http://www.ua-group.co.jp>

※パンフレット記載内容は2011年7月現在のものです。